

課題別研修

「アジア地域 バリューチェーン構築による地域アグリビジネス振興

～高付加価値な地場食品供給のための政策・組織作りからブランド化・流通まで～」

対象国：バングラデシュ、カンボジア、インドネシア
ラオス、ミャンマー、フィリピン、ベトナム

受入人数：11名

受入期間：2017年8月29日～2017年9月29日



本コースは、生産から加工、流通、販売に至る各過程で付加価値を高めながら消費者につないでいくプロセス（バリューチェーン）を構築し、競争力の高い食品供給を企画・推進・調整できる人材を育成することを目的に、今年度新たに開設されました。

今回アジア地域7か国から11名の研修員が参加し、約1か月間、帯広・十勝を中心として、六次産業化に取り組んでいる生産者を訪問したり、出荷、販売の現場などの視察を行いました。

アジア地域での生産現場では、依然として仲買人を通じて取引を行っており、生産者に利益が還元されない中、バリューチェーンの構築を図ることによって、生産者の収入の向上につなげたいと考えています。研修員は、研修で得た知見を各組織で応用、改善するという強い意欲をもって帰国しました。



仲買人を通さず出荷する「出荷・販売専門農協」として設立された丸朝園芸農協。トマトの集荷、選別、出荷までを見学



帯広地方卸売市場にて、生鮮食料品の物流拠点である卸売市場の役割と仕組みを学ぶ。



十勝しんむら牧場にて、生産者による乳製品の加工・販売までを視察



東京有楽町「どさんこプラザ」にて、試食販売から人気商品を探る
アンテナショップを見学